

本県調査船等の紹介（水産関係）

1 調査指導船「いわき丸」（水産海洋研究センター）

(1) 主な業務

東日本大震災の津波で沈没した「いわき丸」の代船として、従来の資源管理型漁業の推進に必要な海洋環境調査や資源調査に加え、魚介類への放射性物質の影響や、長期にわたる操業自粛が水産資源に及ぼす影響などを調査する。

(2) 主要目

平成26年10月竣工	出力	1,323kW	全長42.92m
総トン数189トン	航海速度	13ノット	鋼製
乗組員	15名		

海底土放射線連続観測装置、計量魚探、CTD、トロール網漁労装置等



2 調査指導船「拓水」（水産資源研究所）

(1) 主な業務

主に水深50m以浅の沿岸域における資源管理型漁業及び栽培漁業を推進するための調査、漁場環境調査を行う。

(2) 主要目

平成9年3月竣工	出力	735kW	全長24.8m
総トン数30トン	航海速度	21ノット	軽合金製
乗組員	4名		

中層・底層トロール、サイドスキャンソナー、CTD等



3 調査船「あづま」（水産事務所）

(1) 主な業務

沿岸漁業における漁業秩序維持のため、漁業取締り及び指導を行うとともに、沿岸環境のモニタリング（海水、底質、水産物）調査活動を行う。

(2) 主要目

平成28年11月竣工	出力	1,482kW×2	全長26.9m
総トン数59トン	軽合金製		
乗組員	5名		

